

感染症のことだけでなく、
災害医療のことでもきくことができて
とてもためになる講義をありがとうございました。
また、感染症の歴史についても知る機会ができた
いい機会となりました。感染症は一番かかる
可能性がある病気だと思うので、気をつけたいと
再度認識しました。

色々なところで活躍なさっており、私も将来
こういう道もいいなと思いました。

日本国内の地震が頻りに、ハイチ、ネパールでの震災に
救援に向かわれたお言葉は、医師と志願者として、とても
感銘をうけました。このような災害の惨状、死に立ち
上る、その惨状に「あつた」は「あつた」と感じました。
日本での生活が知らず知らずのうちに、今日のとおり、
たおまは新鮮でした。とても有意義な時間と
すべからず、本当にありがとうございました。

無機質な知識ではなくて 感染症から人間の文明に
及ぼした影響という 珍しい観点からのお話がきけて。
一つ視野が広がったと同時に、新たなモチベーションを
与えられたような気がする。 ありがとうございました。

震災における災害派遣の話から、感染症の伝わりと社会的な面との関連まで貴重な話を聴くことができて良かったです。

災害では医療物資や人的物資が限られた中でどのように医療を行うかということや、避難場所での感染症のアウトブレイクにどうやって対処するかなど詳しい話が聴けて良かったです。

感染症と社会の関連の話については少し難しく感じましたが、山本先生の話を聴いて、感染症を全て防ぐ・排除するよりも、多少は発生していく事の方がメリットが大きいのかなと思いました。